

血圧を下げるクスリ

全長で約9万におよぶともいわれる、血液の通り道が血管です。

血液は、心臓をスタートし、動脈を通して体のすみずみの毛細血管にたどり着き、ここで酸素や栄養素が細胞組織へ取り込まれます。

そして、代わりに二酸化炭素や老廃物を受け取り、静脈を経ていったん心臓に戻り、さらに肺でクリーニングされた血液が心臓に戻ってきます。

この際、心臓から動脈に送り出された血液の動脈壁にかかる圧力を血圧といいます。

血液が送り出された直後が一番血圧が高く、このときの血圧を最高血圧と呼びます。一方、戻ってきた血液が心臓に入ってくるのを待っているときの血圧が、一番低くなるので、このときの血圧を最低血圧と呼んでいます。

安静時に、この最高血圧が140?Hg以上、最低血圧が90?Hg以上ある場合を、高血圧症といいます。

高血圧症は、放っておくと、脳の血管に障害を起こしたり、心臓に過剰な負担がかかって重大な病気を起こすので、注意が必要です。

高血圧という病気は、心臓をポンプ、血管をホースと考えると理解しやすくなります。

ポンプから送り出される水の量が多いと、ホースの内壁には、高い水圧がかかります。また、ホースの先端をつまむと、水の出が悪くなって、内壁の水圧が高くなります。

そこで、高い水圧を下げるには、ポンプから出る水量を減らすか、ホースを広げればよいわけです。

血圧を下げるクスリには、心臓が一回に送り出す血液の量(心拍出量)を減らすβ遮断薬や利尿薬、末梢血管を拡張させ血圧を下げるACE阻害剤、AⅡ受容体拮抗薬、カルシウム拮抗薬、α₁遮断薬などがあります。

一般的には、1種類のクスリだけを使うと使用量が増え、副作用が現われやすいので、それを防ぐ意味で、複数の薬剤を併用することが多いのです。

それぞれのクスリについて、作用するしくみを詳細に見てみましょう。

降圧剤のいろいろ

